

ルック 五大陸 8万キロの旅（添乗）

1969年10月1日（水）～10月25日（木）25日間

観光都市

バンコク、シドニー、シンガポール、
コペンハーゲン（乗換のための宿泊のみ）、
ロンドン、ローマ（+チボリ観光）、パリ、
アビジャン、ダカール、
リオ・デ・ジャネイロ（+パン・デ・アスカル）
ブエノス・アイレス（+パラナ川遊覧）
ニューヨーク、メキシコ・シティ、
ロサンゼルス、（ホノルルは乗換のみ）

※① アビジャンはコートジボアール共和国の首都。現在ではヤムスクロ
が首都。英語でアイボリー・コースト、日本語で象牙海岸。

② ダカールはセネガル共和国の首都、アフリカ大陸の最西端。

通常の世界一周では、ほぼ東西に太平洋と大西洋を結び、日本～欧州間の太平洋経由と大西洋
経由との2つのコースの往復運賃の½にして合算するのが通常であるがそれではこの5大陸ルート
による航空運賃は算出できない。旅行日数と費用とを考えてのツアーとなりました。以下。

- ①大洋州はその盟主であるオーストラリアだけである。
- ②アジアの観光はシンガポルに限定している（バンコクもアジア～欧州のルートを次のコースにしたため、1泊だけで観光はない）
- ③オーストラリアから欧州を結ぶルートに、スカンディナヴィア航空のみが運行するバンコ
ク～コペンハーゲンのルートを採用した。ヒマラヤ上空を飛ぶ異色のルートである。
- ④全体の日数を考えると欧州もコペンハーゲンで観光する余裕がない（乗換のためのだけの
宿泊1泊）であり、ロンドン、ローマ、パリの3都市だけである。
- ⑤さて、アフリカはメインのエジプトを外し、アイボリーコーストのアビジャンである。実
際には、治安も十分ではないが、観光には危険は感じなかった。
- ⑥もう一つのセネガルの首都ダカールは、かつて欧州の列強が獲得に争った都市で、南米の
各都市との航空ルートが開かれており、そのためもあり選ばれた筈である。ダカールのベ
ルデ岬の西にあり、列強が商品集荷基地として利用し、奴隸売買もなされたゴレ島にも行
きたかったが時間の余裕もなかった。
- ⑦南米のリオデジャネイロとブエノスアイレスは当然の選択である（クスコやマチュピチュ
はまだ一般的な観光地として話題になる時代ではなかった）
- ⑧中米のメキシコ・シティーも当然の選択である。米国の東西のニューヨークとロサンゼル
スは妥当であり、休養のためのハワイは、この旅行は趣旨が違う。